

第 10 回人工物工学コロキウム「ドローン技術による産業の変革」開催案内

近年、ドローンと呼ばれる小型無人機は空中や水上、水中などさまざまな領域で活用されるようになり、映像業界を初め多岐に渡る分野で爆発的に普及してきた。その背景にはモーターといった部品の生産コストの劇的な低減や、無線通信、センシングといった工学技術の飛躍的向上がある。一方で、稼働時間や安全性問題といった課題も浮き彫りになっている。本コロキウムでは、ドローン技術を専門とする著名な方々より、ハードウェア作りや自律制御、センシングといった工学的観点から最先端の空中や水中ドローンの技術を概説しつつ、国内および海外における各分野での利活用の事例と課題についてご講演いただく。以上を通して、ドローン技術によって引き起こされる産業の変革とその未来像について議論したい。

■日程：2024 年 11 月 26 日(火) 14:30-17:30 (Zoom ウェビナーを用いたハイブリッド開催)

■場所：東京大学 本郷キャンパス 福武ホール 福武ラーニングシアター

<https://fukutake.iii.u-tokyo.ac.jp/facilities-inside/theater.html>

■主催／共催

- ・ 主催：東京大学大学院 工学系研究科 人工物工学研究センター

■申込方法

- ・ [イベント HP](#)、または右のフォームより直接お申し込みください(<https://forms.gle/MxhwAJGoiv4KCsdGA>)。
- ・ 申し込まれた方々に対して、11/8(金)を目安に Zoom ウェビナーの情報をお送り致します。
- ・ その後も聴講申込はイベント終了まで受付けますが、情報交換会の申込は 11/8(金)までです。



■プログラム

14:30-14:35	開会挨拶 加藤 泰浩(大学院工学系研究科長・工学部長)
14:35-15:05	「ドローンの国内外制度の動向と自動化自律化への取り組み」 鈴木 真二 (東京大学未来ビジョン研究センター特任教授 / 福島ロボットテストフィールド 所長)
15:05-15:35	「知能ロボティクスからみる空中ドローンの新たな可能性」 趙 漢居 (人工物工学研究センター 実践知能部門 講師)
15:35-15:50	休憩
15:50-16:20	「海中ロボット(ROV・AUV)の研究開発動向」 巻 俊宏 (東京大学 生産技術研究所 准教授)
16:20-16:50	「水空合体ドローンによる新たなアプローチ(仮)」 足立 崇 (KDDI株式会社 事業創造本部 LX 基盤推進部/KDDIスマートドローン株式会社 プラットフォーム事業部)
16:50-17:20	総合討論 モデレータ：浅間 一 (東京カレッジ 特任教授)
17:20-17:30	閉会挨拶 高橋 浩之(人工物工学研究センター長)
17:45-19:15	情報交換会(福武ホール 福武ラーニングシアター ホワイエ)、参加費 2,000 円(11/8(金)までにお申し込みください)

(参考)

東京大学大学院 工学系研究科 人工物工学研究センターは、これまでに確立された人工物工学の基盤を発展させ、人類の持続可能性に資する次世代ものづくり(製品のみならず、そのライフサイクルを通したサービスも含む)に関する研究教育と社会実装を推進する、工学系研究科の附属施設として本郷キャンパスに 2019 年に設置されたセンターです。

センターでは、東京大学工学系研究科の研究者が中心となりつつ、他分野の研究者と協力し、技術のみならず価値や受容性など、広く人や社会と技術の関係まで考慮し、学際的な取り組みによって問題解決の手段を模索するとともに、ニーズ駆動型の次世代ものづくりの研究教育を行っています。センター内に価値創成部門、認知機構部門、実践知能部門の3つの部門を設置され、価値創成部門においては新しいモノづくり及びモノ・サービスエコシステムの設計、認知機構部門においては人と人工物の認知過程及び人に資する人工物作り、実践知能部門においては人工知能をはじめとする知能化技術の理論と実践の融合に関する教育研究を行っています。

人工物工学研究センターでは年に 2 回ほど、人工物工学コロキウムと呼ぶ公開シンポジウムを開催し、人工物工学と関わりのある学内外の方をお招きし、話題提供と議論をしております。

(過去の開催テーマと担当部門)

- ・ 第 9 回人工物工学コロキウム:心を豊かにする工学を考える(認知機構部門／太田)
- ・ 第 8 回人工物工学コロキウム:デジタル時代のサービスづくりと人工物(価値創成部門／原)
- ・ 第 7 回人工物工学コロキウム:SDGS 時代の物流システムのデザイン(実践知能部門／青山)
- ・ 第 6 回人工物工学コロキウム:DX に向けたデジタルエンジニアリングの進化(認知機構部門／大竹)
- ・ 第 5 回人工物工学コロキウム:ダイナミック人工物(価値創成部門／杉田)
- ・ 第 4 回人工物工学コロキウム:つながる人工物システム(実践知能部門／青山)
- ・ 第 3 回人工物工学コロキウム:人・もの・社会の共存を目指す人工物工学(認知機構部門／太田)
- ・ 第 2 回人工物工学コロキウム with ものづくり経営研究センター:今求められる次世代ものづくり戦略(価値創成部門／梅田)
- ・ 第 1 回人工物工学コロキウム:多数パラメータと科学技術(実践知能部門／松尾)

各回の開催報告は、人工物工学研究センターの研究年報に掲載しています。

<http://race.t.u-tokyo.ac.jp/about/report/>